



色彩館に咲く

ニューサイラン

Phormium tenax

ワスレグサ科フォルミウム属
原産地：ニュージーランド



マオリ族からはハラケケと呼ばれる

常緑の多年草で、草丈が種類によって 60cm から 2m以上になります。剣のようなとがった葉を持ち、アヤメの葉の部分の部分を大きくしたような草姿をしています。5月から6月ごろに草丈よりも高く花茎を伸ばしユリの花を小さくしたような花をいくつも咲かせます。

学名はフォルミウム テナクス (*Phormium tenax*) といい、色彩館に植栽されているニューサイランは葉が紫色の‘プルプレウム’ (*Purpureum*) と、葉に黄色の縞が入る‘ヴァリエガツム’ (*Variegatum*) という園芸品種です。園芸品種には他にも様々な大きさや葉色を持つものがあり、観葉植物としての利用のほかにもフラワーアレンジメントの材料としても利用されます。ちなみにニューサイランというのは和名の呼び方で、これはニュージーランドを漢字表記すると「新西蘭」と書かれることから、それぞれの漢字を英語読み、訓読み、音読みと漢字表記の読み方を変えた呼び方からきています。

ニューサイランは原産地であるニュージーランドの先住民族、マオリ族から非常に有用な植物とされ

ていました。花からは蜜を採り、根は焼いてすり潰して腫れ物の湿布剤として、更に花茎で筏を組むなどニューサイランを丸ごと活用していました。とりわけ葉からとれる繊維はマオリ族の伝統的な織物やマット、魚を取るための網を作るほかにも、ロープや船の帆の材料としても利用されていました。現在はほとんど用いられなくなったそうですが、ヨーロッパ人がニュージーランドに到達してから第2次世界大戦前まではとても重宝されました。

品種によってマイナス 10 度まで耐えるものもありますが、基本的には北海道での屋外越冬は難しく、鉢植えで管理し室内で越冬させます。日陰でも耐えますが、日当たりの良いところで管理すると葉がしっかりと立ち上がり整った草姿になります。水はけが良く、且つ水分を逃がさないような土に植えつけ、肥料は元肥の他に緩効性の肥料を与えます。

色彩館のニューサイランは、2013 年のリニューアルのときに植栽されてから初めて花を咲かせました。言葉では説明しづらいユニークな姿なので、機会があれば見にいらしてくださいね。

ようこそ、誇り高き北国のバラ園へ。

いわみざわローズフェスタ 2016

IWAMIZAWA Rose Festa 6/25^{SAT} ▶ 7/10^{SUN}

7/4(月) いわみざわ彩花まつり 7/10は遊園地で
～10(日) 7/9、10は色彩館入場無料! 花火大会!

9:00～18:00

バラ園 —その広さ約4ha, 道内最多約630品種が咲き誇る!!

ローズツアー (1時間程度) バラ管理スタッフが直接園内をご案内します。

平日: 11:00～ 土日: ①10:30～ ②13:00～

そのほか、好きなバラの人気投票、ウォークラリー、品種紹介などなど...

今年のバラ園はちょっとだけバラのことを知った気分になれるかも?!

室内公園 色彩館

「愛の花」写真スポット (佐藤 広大/バラ園イメージソング)

フェスタ期間中限定で温室内にフォトスポットが登場! 入園料 大人100円 小中学生50円

オーガニックのブルガリアンローズを楽しむ♪

ローズフェスタ期間限定のショップが登場! 講習会やハンドセラピー(7/2,3)もあります♪

7/2・3はフラワーマスターによるイベント!

バラの講座「はじめてのバラ」、多肉植物のワンコインアレンジなどなど...

市内のオープンガーデン情報も!

いわみざわ彩花まつり 野点・箏曲 7/10(日) 11:00～

旧緑のセンター 小さいピラミッドのほう

藤川志朗イラスト展 7/7(木)まで 10:00～17:00

※7/3(日)はスケッチ講座もあります

いわみざわ彩花まつり 盆栽展 7/9(土)・10(日)

トマトの産毛 の話



ちよりちより。

畑に植えたトマトが、ぐんぐん大きくなってきているのではないのでしょうか。倒れないように支柱をしたり、実を収穫したりするときに、トマトに生える産毛に気付くかと思います。これはトライ

コームといい、トマトの表皮細胞が伸びたものです。強風・強光から身を守る他、小さな害虫を寄せ付けないようにするなどの効果を持っています。トライコームはトマトだけではなく、他の植物にも様々な効果や形で備わっています。例えばミントやバジルなど、ハーブの匂い物質はこのトライコームに貯めこまれています。

トマトに触って「手が緑色になったぁ。」と思ったら、それはトマトがしっかり身を守っている証拠です。

よし
なし
ごと

MIZ

ひとつき ひとバラ



文：新堂大樹
(いわみざわ公園バラ園)

第二十八回

ハイブリッド ティー ローズ

ダブル ディライト

Double Delight

作出国：アメリカ

作出者：Swim&Ellis

作出年：1977 年

ハーディネスゾーン：Z4

繰り返し咲き性

交配：GranadaxGarden Party



半剣弁高芯咲きの大輪で、クリーム掛かった白に華やかな赤の覆輪が入る特徴的な花色です。赤色の覆輪は気候や日照などにより赤色が広がっていき、咲き進むにつれて赤色が多くなります。気候や土壌など様々な条件により覆輪が出ないこともあり、ひとつひとつの花模様は異なります。

この品種は耐寒性があり強健種ではありますが、葉質が弱いため葉害には注意が必要であり、黒星病（黒点病）にかかりやすいです。樹高は1m前後とあまり高くなく横張り性でトゲが多いです。そして特筆すべきは甘いフルーツ系の香りであり、その強香性は咲き始めから咲き終わりを通して安定的な香りをまわりに放ちます。ダマスク香成分とエステル類（芳香化合物）が多く含まれており、またティー系の特徴成分が絶妙なバランスで含まれているようで、アプリコットやアップルなどのフルーツ系のおいしいような香りがします。

ダブル ディライトの名前の意味は「二重の喜び」であり、強香な香り美しい覆輪からその名がつけられました。香りの良さと花容でとても評価が高く受賞暦があり、この品種が作出されてすぐの1977年にAARS受賞、1985年に世界バラ連合殿堂入りを果たしています。ダブル ディライトの交配親は香りが強く複雑な色彩を持つ花のGranada(HT)とAARS賞を受賞している薄いクリーム色のふちにピンク色が入る覆輪のGarden Party(HT)です。その2つの品種の良いところを受け継いだのがダブル ディライトであり、また枝変わりのつるダブルディライトもあります。

当園でも整形式花壇で栽培しているこの品種ですが、香りの良さを気に入ってしまい、開花期にはいつも香りを嗅ぎに行っているほどです。整形式花壇で他のバラの香りに負けないほどの香りを放ちますので是非、そのおいしそうな香りと花容をみに当園に足を運んでください。



いよいよバラの一番花が続々と咲いてきました。これからは待ったなしにどんどんと咲いてくるわけですが、咲くまでにさまざまな手入れをしてきました。剪定、施肥、芽かき、摘蕾と。全ての集大成がバラの開花、生育にももちろん影響してきます。よくある質問がなんで自分の家のバラは咲かないのだろうか？そんな困難にぶつかる人は少なくはないです。実際に見て見ないと症状は断定できませんが、原因は様々です。例えば鉢植えのバラになるとしっかり手入れをしたとしても何年も引っ張って行くのは厳しいものがあります。また肥料不足や虫、病気による影響などももちろんあります。原因を知るにはまずはそのバラの特徴、性質を知ることが大事だと思います。ただ病気に強い強権な品種を選ぶと管理者からすると安心して見ていられるのでお勧めですよ。

7月の市民園芸講座のご案内



●7月9日(土)・10日(日) 13:00~15:00

ローズツアー ～満開のバラ園を散策～

無料 定員：40名 講師：いわみざわ公園バラ園スタッフ

●7月17日(日) 10:00~12:00 ローズツアー ～満開のバラ園を散策～

無料 定員：40名 講師：いわみざわ公園バラ園スタッフ

●7月17日(日) 13:00~15:00 盆栽作りの楽しさ

無料 定員：40名 講師：吉川 茂さん 岩見沢樹石会

●7月23日(土) 10:00~12:00

ばらゼミ⑤～夏を乗り切るための秘訣と花後の管理

無料 定員：40名 講師：工藤 敏博さん ローズグロワー

●7月31日(日) 13:00~15:00

切り花を長く楽しもう～バラの染色実験

料金：300円 定員：40名 講師：森 志郎さん 酪農学園大学

●8月7日(日) 13:00~15:00 花木・庭木の剪定と管理

無料 定員：40名 講師：川原 元信さん 川原花木園